

厚生福祉常任委員会報告 つづき

議案第65号 平成23年度介護保険特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算にそれぞれ409万4千円を増額し、それぞれ7億4,865万8千円とする。当初見込みより要支援者が10名程増える見込みになったので、それに対応した予算増である。

主な質疑

問 ケアプランはどこで作っているのか。

答 社協とゆの里園である。要支援者のケアプランは包括支援センターで作られている。

問 要支援者は増えたとの事だが、要介護者は増えてはいないのか。

答 要介護者はほぼ当初見込みの数になっている。

議案第68号 平成23年度病院事業会計補正予算(第1号)について

事業費用の既決予定額1億6,502万7千円から159万8千円を減じ、1億6,342万9千円とするもの。病院担当者の人事異動による人件費の減である。

産業建設常任委員会報告

平成23年12月14日
委員長 南雲 正

付議事件

事件の番号	件名	結果
議案第66号	平成23年度下水道特別会計補正予算(第2号)について	全員賛成で可決すべきものと決定
議案第67号	平成23年度水道事業会計補正予算(第2号)について	全員賛成で可決すべきものと決定

議案第66号 平成23年度下水道特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出からそれぞれ97万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を10億5,080万4千円とするもので、歳入では受益者負担金85万円を増額、基金繰入金を183万2千円減額し、歳出では人事異動による人件費の増67万2千円、湯沢浄化センター井戸ポンプ入替320万円、汚水管布設工事費減500万円が計上された。

主な質疑

問 汚水管布設の500万円減は、どこの工事分か。

答 新たな下水道接続のための予備工事費だった。

問 下水道未接続者の今年度の接続状況は。

答 年度27件の申請があり、例年ベースの推移である。

議案第67号 平成23年度水道事業会計補正予算(第2号)について

収益的支出の営業費用を307万5千円増額する補正である。その要因は中央簡水井戸水源取水流量計購入他250万円、人事異動による人件費増、放射線測定増57万5千円の計上である。

主な質疑

問 放射線測定の現状は。

答 魚野川水源から取水し新潟で測定している。当日採取、測定、発表が県の原則であり、放射線は検出されていない。宅配便が活用できるようになったら浅貝水源をはじめ、他でも測定したい。

産業建設常任委員会

委員長 南雲 正
副委員長 岸野 雅人
委員 高橋 綾夫
角谷 勉
白井 孝雄
関 忠夫
半澤 利貞
師田 保